

## 菌根菌について

仲村得喜秀

最近はこの種の出版物も多く、植物をやっている人にとっては常識になりつつあるようです。私も良くわかりませんが・・・・・・・・。

＊全ての植物は菌根菌と共生していると言われている。

＊樹木の7割は、アーバスキュラー菌根菌と共生している。

＊この菌は樹木の根とつながっていて、その木の光合成量の2割のエネルギーで育成されている。土の中には目に見えない菌糸が張り巡らされているという。

＊この菌根菌の役割は、土壌中の①水分の吸収、②リン酸などの養分の吸収、③病菌などの阻止である。

他にも土壌中の他の樹木の菌根菌とつながり、ネットワークを作り、養分や水分のやり取りもしているという。

＊菌根菌は共生菌なので、樹木とお互い助け合う関係である。

＊他にもラン科の植物の共生菌は、ラン菌と言われている。ランの種子は芥子粒ほども小さく、種子の中に発芽させる子房を持っていないので、自力では発芽できない。土の中のラン菌と結びつくことで養分をいただき、発芽できるのだという。他にも共生菌である菌根菌には多様なものがあるらしい。